

箕輪町のすがた

“箕輪の今”を毎月お届けします。

今月は、住みよい地域づくりのため、住民の皆さんが主体となり、各地区・地域で進められている事業の取り組みを紹介します。

今回の箕輪町のすがたは5月24日(土)掲載予定です。

協働のまちづくりの促進を

【地域総合活性化事業】

平成十六年度から導入した、箕輪町地域総合活性化事業は、区単位や隣接する複数の区で共同で行う事業を対象にし、地域の実情に合わせた支援を行っています。

各区では、住民の皆さんから区費などを徴収して、区の運営を行っています。人口、世帯数などの規模により、住民の負担や区の収入に差が出ているため、財政の厳しい区でも地域(区)の活性化ができるよう、地域活性化のために住民自らが知恵とズクを出して、区等が主体となり行う事業に要する経費に対して、予算の範囲内で支援を行っています。

平成十九年度の事業をいくつか紹介します。

沢区では、国道一五三線バイパスの熊野坂を花いっぱいにしようと、昨年十一月に区会議員と区民の皆さんで八百メートルに水仙の球根を植えました。早春に水仙の可憐な花が道行くドライバーの気持ちを和ませてくれました。



沢区の「熊野坂の水仙」

大出区は、平成十七年度からの継続事業で「城山公園とその周辺整備」として、十九年度は城山公園下にミニ公園づくりを行いました。公園の清水の湧出箇所には、水芭蕉とザゼンソウの植栽を行い、急斜面へ

の階段設置や両公園を結ぶ遊歩道の整備も行い、区民の癒しの場として整備されました。



大出区の「遊歩道づくり」

福与区と三日町区では、両区で協賛の「福与城址まつり」を昨年の四月二十九日に開催し、折からのTV大河ドラマの反響もあり千人以上の参加者が手作りのお祭りを楽しみました。また、水仙の里づくり事業に取り組み、南小の児童も参加して二万球を超える球根が植え付けられました。

福与区では、「福与区花いっぱい運動」として、七常会十一か所で公民館やゴミ収集所周辺と主要道路沿いに花壇を作り花を植えました。住民の協力で実施することにより、地域の美化と協力体制が確立できました。



福与区の「花いっぱい運動」

この他にも、各区で特徴のある事業が実施されています。本年度も各区で「知恵」と「ズク」を出した事業が検討されています。また、役場担当課で各地域の緊急事業に対応していくための、支援制度の改定を行っています。

【アダプトシステム】

北小河内の皆さんによる「北小河内ふれあいの路」は、平成十七年七月に長野県が進める「信州ふるさと道のふれあい事業 アダプトシステム」を、道路管理者である伊那建設事務所と支援する町との三者で協定を結び、年に五回ほど美化活動を行っています。

アダプトシステムは、県が管理する道路の「里親」になりボランティアで美化活動を行う制度です。地域の活性化を図りたいと、入会者を募り、発会時には住民や区内の親睦団体・企業など百三十六人が加盟し、その後も徐々に会員が増えています。

対象区間は、宮下から辰野町との堺までの県道伊那辰野線と、宮下から伊那路橋までの南小河内伊那松島線の合計約二キロメートルです。

今後定期的に美化活動を行ない、沿道にイワヤマツツジなどを植えたり、花のプランターを設置したりと、花の道を作っていくという事です。この他に、町道六号線松島地区でも行われています。

【西部花街道をつくる会】

県道与地辰野線(西県道)沿線の地域の皆さんでつくる「西部花街道をつくる会」では、約七〇人が会員となり、平成十七年から花桃の苗木の植樹や水やりなどの管理や、県道沿線の下草刈り・支障木の伐採や枝払いを行っています。

沢長田から富田まで、六つの区を通る約六キロメートルの西県道沿いに、これまで約千本の花桃の苗木を植栽しました。三、五年後には中央・南アルプスを背景に、赤白ピンクの花桃の花を楽しみに、また県道を通る方々にも喜んでいただけるよう、県道の美化と景観形成に向けた作業に取り組んでいます。

また、昨年十一月には国土交通省が、地域の自主性に基づく活動を通して、共同のまちづくりの推進を理念に提唱する「風景街道」に、花満載の県道の景観づくりに向けて、地域資源の掘り起こしを行い地域活性化を図ることを目的に、同会をはじめとする地域住民や企業、町など十二団体で推進協議会を設立し、「信州みのわ花街道」として登録されました。



花桃の植樹作業風景

「協働」とは何か。

協働とは、社会的役割・機能の異なる団体、組織(主体)が対等の立場で、目的・目標を相互に共有したうえで、地域や公益的な課題を解決するために役割を分担し協力して事業を行うことです。

なぜ、協働が必要か。

協働が必要とされる理由は次の点が考えられます。
【多様化する住民ニーズへの対応】
行政によるサービスは、公平、平等均一的に行うことが基本となっていますが、多様化する住民ニーズへ対応するために、多様性を持つ主体と協働する必要があります。

【まちづくりへの参加の拡大】

まちづくりへの参加に当たり、従来の手段に加え、行政と協働する組織へ参加することによりその機会が拡大します。また、住民がより良い地域づくりを目指して自主的に地域独自の課題解決にかかわることで、行政と住民の連携が図られます。



箕輪町



町ホームページ
<http://www.town.minowa.nagano.jp/>



E-メールアドレス
minowa@town.minowa.nagano.jp



携帯電話用ホームページ
<http://www.town.minowa.nagano.jp/mobile/>

町からのお知らせや身近な話題など...
ぜひご覧ください。

○「MINOWAもみじチャンネル」

- ICT箕輪専用チャンネル(放送日/毎週土~火曜日) アナログ29ch・デジタル512ch
- ICT1チャンネル(放送日/毎週土~金曜日(火・木曜日を除く))

※この紙面に関するお問い合わせは

総務課広報係まで

電話 0265-79-3111(内線450)

FAX 0265-79-0230

E-mail kouhou@town.minowa.nagano.jp